

## 行財政改革の推進に関する意見及び市の対応

シート	委員の意見	市の対応
実施項目【1①】 取組番号【6】 イベント等のあり方の検討 【地域振興課】	<p>夏まつりのイベント実施費用は過去4年間、約1,700万円程度、要しているが、8/7、8/31の2日間で12,000人と減少している。H22年度の4分の3となっており、費用対効果や雨天中止での無駄な支出なども勘案して、別の形による地域振興を工夫すべきである。</p>	<p>加東市夏まつりはH23年度から「花火大会」と「夏のおどり」に分けて開催しています。</p> <p>H25年度「花火大会」については、「いろいろな愛」をテーマに、地域への郷土愛や家族愛をイメージした音楽花火や8号玉の連発花火など、毎年趣向を凝らした演出をしており、会場に8号玉のレプリカを展示するなど、花火の魅力を広くPRすることができ、来場者数は前年(7,000人)の約2割増加の9,000人となりました。</p> <p>また「夏のおどり」では、初の試みとして河内音頭の家元“河内屋菊水丸”を迎え、「加東よしよし音頭と河内音頭のコラボレーション」をテーマに、総踊りによるコミュニティの輪を大きく広げることができ、来場者数は前年(2,000人)の5割増加の3,000人となりました。</p> <p>加東市夏まつりについては、これまで以上に創意工夫を重ね、北播磨の夏の風物詩として定着させていきたいと考えます。</p> <p>なお、来場者数についてはH24年度から、警察の指導を受け、バス利用者人数、来場自動車数等による実測算出方式に変更しています。</p>
実施項目【1①】 取組番号【10】 公用車台数の適正化 【財政課】	<p>現在の分庁方式を前提として、現有台数が維持されているが、H23年度までの減少からH24には5台増となっている。</p> <p>運用の改善や庁舎の統合計画に向けて、総合的な観点から台数削減を検討できないか。また、消防の分団車両77台が数値的成果から除外されているが、北はりま消防組合のデータに組み入れてあるのか。</p>	<p>合併以降、車両台数の適正化として、公用車の削減に努めていますが、平成24年度はリース車両3台の買取りと、災害等緊急時対応車両及び市運営有償運送事業(米田ふれあい号)の車両を購入したことにより計5台が増加した形となっています。実質的な増加は2台となりますが、各事業を進めるうえで必要な増加と考えています。現在、庁舎統合による車両の管理方法等を含め、適正台数の把握、検討を行っており、事業に必要な台数を確保しつつ不要車両の精査、削減を行っていきます。</p> <p>また、消防の分団車両については市の管理車両ではありますが、火災及び災害時の地域の防災活動に必要な不可欠なものであると位置付け、削減対象車両外として扱っています。</p>

シート	委員の意見	市の対応
<p>実施項目【1②】 取組番号【26】 福祉事務所の相談事業のあり方の検討 【福祉部】</p>	<p>市の福祉施策の取組は、福祉部（3課）と社会福祉協議会が担当している。しかし、現庁舎の1階入口には福祉事務所の看板があり、福祉事務所と社会福祉協議会、レポートやしろの連携、市の行政機関の他部局との業務分担が市民には非常に把握しづらい。健康志向や予防介護に力点を置く方向を望む。</p>	<p>福祉の制度上、福祉部・福祉事務所と表示をしていますが、市では福祉事務所の業務は、福祉部に包括されております。新庁舎になりますと、レポートやしろ内の「包括支援センター」を含む高齢介護課など分散している福祉部署が一か所に集約されます。「福祉」の困りごとがあれば、新庁舎の福祉部までお越しいただくことで、ほぼすべての対応が可能と考えます。</p> <p>なお、社会福祉協議会は行政の組織ではなく、社会福祉法人として地域の細部に目を向けた福祉や在宅支援などを担っています。事務所は社福祉センター内にあります。相談内容などに応じて、今後とも連携を図っていきます。</p> <p>また、介護の予防の取り組みは、生まれてから介護が必要となるまでの間、いわゆる元気なうちから始まっているといっても過言ではありません。これまでも増して健康課との連携を深め、健康相談や健康指導を通じた介護予防を進めていきます。</p>
<p>実施項目【3】 取組番号【35】 時間外勤務手当の縮減 【総務課】</p>	<p>成果なしの要因の1つとして、「24年度においては電算システムの更新業務などが重なり」とありますが、この特殊事項が終了すれば、時間外勤務時間が、どれくらい減少されると予測していたのでしょうか。（9月末現在大きな成果なしのことですが）</p> <p>私事余談（時間外勤務が恒常化されると、これまでの生活が当たり前になってしまう傾向があるように思います。たとえば、時間管理。今まで忙しくて午後7時退社が当たり前で、それが、午後5時に退社することになると、余った2時間をどのように過ごしてよいのかわからない人。そして、金銭感覚。時間外手当を含めた収入が減ってしまうことへの不安を抱えてしまう人など様々ですが、それらの要因によって、日々の仕事を自分で増やし（しなくてもいい事）で、仕事時間を費やす人もいます。</p> <p>ノー残業デーを徹底する事は大変いいことだと思います。それによって職員の意識改革にもなるのではないのでしょうか。</p>	<p>24年度の特許事項の終了により23年度実績ベースまでは抑制出来ると想定していましたが、9月末現在では想定した数値までの抑制は出来ていません。</p> <p>日々の時間外勤務は、所属長が時間外勤務命令を出して勤務に当たるようにしており、時間感覚、金銭感覚の麻痺による恒常的な時間外勤務が発生するようなことはないと考えております。</p> <p>時間外勤務の縮減は、ノー残業デーの徹底や抜本的な事業の見直し、創意工夫による業務の効率化を図ることで、可能と考えております。</p> <p>ただし、今年度下半期も、特許事項として庁舎移転による休日勤務や時間外勤務が見込まれ、引き続き厳しい状況にあると分析しています。</p>

シート	委員の意見	市の対応
実施項目【5】 取組番号【49】 <b>会議の情報公開の推進</b> <b>【総務課】</b>	<b>質問</b> 個人情報の開示とは、どのような内容でしょうか。 数字を見ると、年々個人情報の開示（請求）の件数が増えています。また、9月末までで、個人情報の開示（請求）の件数が公文書件数を上回っているのが気になりました。	診療記録、相談記録又は職員採用試験の結果が記載された文書、住民票又は戸籍の請求書などの自己の情報が記載された公文書が保有個人情報の開示の主な内容となっています。 個人情報の開示（請求）件数が増加した要因は、平成24年8月から本人通知制度（住民票の写し、戸籍の謄本や抄本などを第三者に交付した場合において、事前の申出により登録された方に対し、その交付された事実を通知する制度）を実施しており、この制度による個人情報の開示請求（住民票、戸籍などの請求書の開示請求）の増加によるものです。
実施項目【6】 取組番号【57】 <b>新たな財源の確保</b> <b>（JR社町駅前駐車場の有料化）</b> <b>【企画政策課】</b>	H24年度では、使用料が維持管理費を上回りこのままいくと、工事費を償却出来そうな一方で、駐車場を有料化した事により、滝野駅前に駐車する車が増えているようですが、H25年度の見込みは昨年同様、もしくはそれ以上の使用料収入が見込まれているのかお聞かせ下さい。いつから新たな財源として見込まれているのでしょうか。気になりました。	JR社町駅前駐車場につきましては、平成24年10月1日から有料といたしました。 平成25年度分の使用料につきましては、平成24年度が半年分でしたので、倍の1年分を見込んでいます。
実施項目【6】 取組番号【57】 <b>新たな財源の確保</b> <b>（ふるさと納税）</b> <b>【総務課】</b>	9月末現在と過去の件数・金額を見ると金額がかなり減っています。 <b>提案</b> 1万円以上の寄附に対して特産品プレゼントされていますが、寄附額に段階をつける事は出来ないでしょうか。段階をつけて特産品の中身を変える事です。（前に広報でふるさと納税1万円以上で特産品がもらえるといった記事を目にしました。その時、いいなあと、思いました。が、1万円でも10万円でも同じ特産品なら10万円もする必要ないよな）と思ったからです。	ふるさと納税に対する特産品のプレゼントについては、寄附の促進とともに、加東市の特産品を全国にPRするという事も目的のひとつとして始めたものです。 高額な寄附に対して高額な特産品を贈ることも検討いたしました。が、手軽に寄附ができ、かつ、多くの特産品を選択肢とできるように、現状の金額及び特産品を設定しております。 今後も、特産品の掘り起こしをより積極的に行い、高額な寄附のお礼にふさわしい特産品がありましたら、ご提案の内容も踏まえ、制度の見直しを検討してまいりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。
実施項目【7】 取組番号【60】 <b>分庁方式のあり方と庁舎整備の検討</b> <b>【企画政策課】</b>	旧3町合併による新統合庁舎については、基本計画書を閲覧したが、現分庁舎の利活用や取り壊し計画にはあまり詳しく計画書に記載されていなかったと記憶している。 社、滝野、東条の各庁舎の整備方針については、どのような検討組織や合議体で、その方針がいつ決定されたのか、ご教示願いたい。	3庁舎の取扱いにつきましては、基本計画策定時には方針を決定していませんでした。 その後、内部検討を重ね、社庁舎の建物調査を経て、平成25年6月6日の加東市議会総務文教常任委員会において、3庁舎の取扱い方針を発表いたしました。

シート	委員の意見	市の対応
<p>実施項目【8】 取組番号【68】 兵庫教育大学との連携強化事業 【企画政策課】</p>	<p>「輝く加東 まちづくりコンソーシアム」を中心に、まちづくりに取り組む体制が整ったことは喜ばしいと思う。しかしながら、大学のサークルや学外の発表会が加東市内ではなく、加古川や小野といった他市の文化施設で開催されることが多いのは、本市が大学に協力的でないからか？それとも、集客力を意識した大学側の意思か？</p>	<p>兵庫教育大学は、市内唯一の大学として専門的な知識のみならず学生の若い力など、本市のまちづくりにおいて不可欠な存在となっています。</p> <p>市外の会場で発表会などが多く行われているとのことですが、活動をより多くの方に知っていただくの思いがあるのではないかと推測しています。</p> <p>加東市と大学は、平成18年4月に地域社会の発展と人材育成に関する連携協定を結んでいます。学生活動においてもできることは協力し、また、サークル等の課外活動団体には市主催や地域の催し等に出演いただいています。今後も大学との交流を更に深めていきたいと考えています。</p>
<p>実施項目【10】 取組番号【70】 ごみ減量化対策の実施 【生活課】</p>	<p>年間ごみ処理量は、4年前と比べて約1,400 t減少し、喜ばしい傾向である。一人当たり排出量では生活系が年間7kgから17kg減少しており、各家庭などで3R（リユース、リデュース、リサイクル）に取り組んでいる成果であるとも想像できる。私も段ボールコンポストの普及を北播磨地域ビジョン委員会で広報普及しているが、樹木の剪定枝のバイオマス化など、減量化に努めたい。</p>	<p>加東市では、樹木の剪定枝は、一般廃棄物として焼却処分を行っています。</p> <p>市内で発生する量や処理施設などの把握はしていませんが、今後計画等の見直しにおいて、検討していきたいと考えます。</p>
<p>実施項目【10】 取組番号【71】 環境基本計画の策定、推進 【生活課】</p>	<p>結果・取組として、住宅用太陽光発電システム設置補助件数しか（ほとんど）取り上げられていませんが、これだけですか。数字として評価するにはわかりやすいですが、他にも市役所内に於いて率先して行うために取り組んだことなど色々あるのではないのでしょうか。もっと取組・成果を報告してください。</p>	<p>省エネ・省資源化の推進の取組では、市役所から排出される二酸化炭素排出量を平成19年度対比で平成24年度までに6%削減を目標に掲げていましたが、平成24年度には6.8%削減となり目標を達成しました。平成25年3月には第2次加東市役所地球温暖化対策実行計画を策定し、平成25年度から平成29年度の間で、平成23年度対比で12%の削減目標を掲げ取り組んでおります。</p> <p>地球環境に配慮した交通の推進の取組では、平成25年度にじん芥収集車にエコカー1台を導入しました。</p> <p>また、環境学習として、市内の小学生を対象に、夏にかとう自然学校（川の巻）を開催（16名の参加）、冬にかとう自然学校（森の巻）を開催します。</p> <p>ごみの減量化・リサイクル化を進めるために、市内98の自治会全てでごみ減量・リサイクル懇談会を実施しました。</p>